



防災学習ガイド

もしものときに  
そなえよう

# 台風・豪雨

監修 国崎 信江 (危機管理教育研究所代表)



情報の調べ方、  
まとめ方

収録

# もくじ



はじめに	2
この本の見方	4

## 1章 台風・豪雨について学ぼう

日本をくり返しおそってきた台風・豪雨	6
どうして台風が起きるの？	8
どうして豪雨が起きるの？	10
台風・豪雨がもたらす被害	12

## 2章 もしものときにそなえよう ～台風・豪雨編～

<b>マンガ</b> 台風が近づいてきた！	16
台風情報を見よう	20
警戒レベルととるべき行動は？	22
暴風・大雨から身を守るには？	24
浸水・高潮・河川の増水から身を守るには？	26
雷から身を守るには？	28
土砂災害から身を守るには？	30
避難の場所・方法を確認しておこう	32
避難のときの注意点は？	34
家庭の防災 台風にそなえるには？	36
<b>マンガ</b> 今日から防災を始めよう	38
<b>コラム</b> 自宅で待機するときは？	40

## 3章 情報の調べ方、まとめ方

防災について文章を書いてみよう	42
<b>資料編</b> おもな台風・豪雨の被害の歴史	46
さくいん	47

# どうして 台風が起きるの？

台風が発生すると、強い風が吹き、大雨が降ります。毎年のように各地で災害を引き起こす台風は、どのように発生し、どこを通り、最後はどうなるのでしょうか。

## 台風が生まれるしくみ

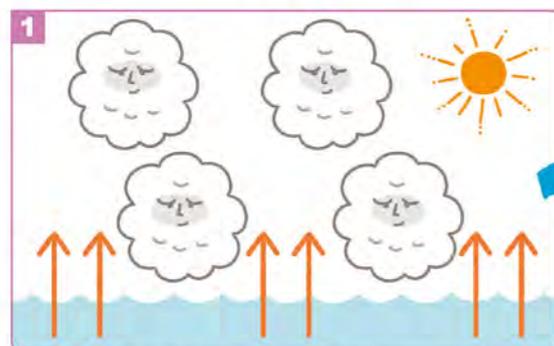
台風は、日本のはるか南、熱帯（一年を通して高温な地域）の海上で発生しています。

熱帯の強い日差しは、海面とまわりの空気をあたためます。あたためられた空気は軽くなって、

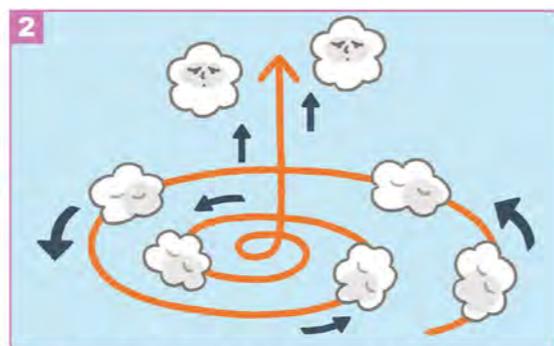
たくさんの水蒸気をすいこんで上昇し、「積乱雲」という雲をつくり出します。

積乱雲が集まり、まわりから風が吹きこむとうずができて、大きく発達すると台風になります。

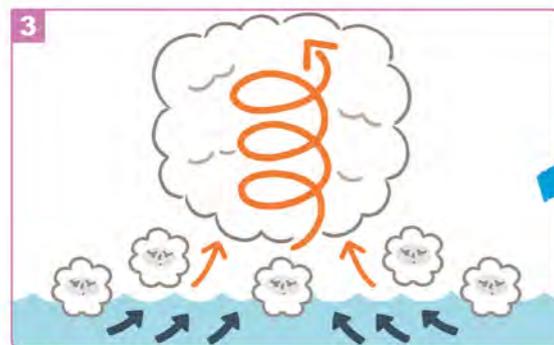
## 台風発生のおしくみ



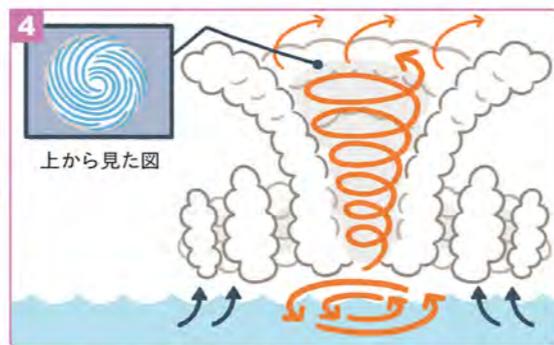
強い日差しで海面が熱せられると水蒸気が立ちのぼる。



水蒸気がまわりながら上空へ上がり、積乱雲をつくる（日本のある北半球は左回り、南半球は右回り）。



積乱雲がひとつに集まり、うずが大きくなる。



次々と雲ができて、台風へと成長する。遠心力で雲がおし出され、中心部分には「台風目」ができる。

## 日本は台風の通り道

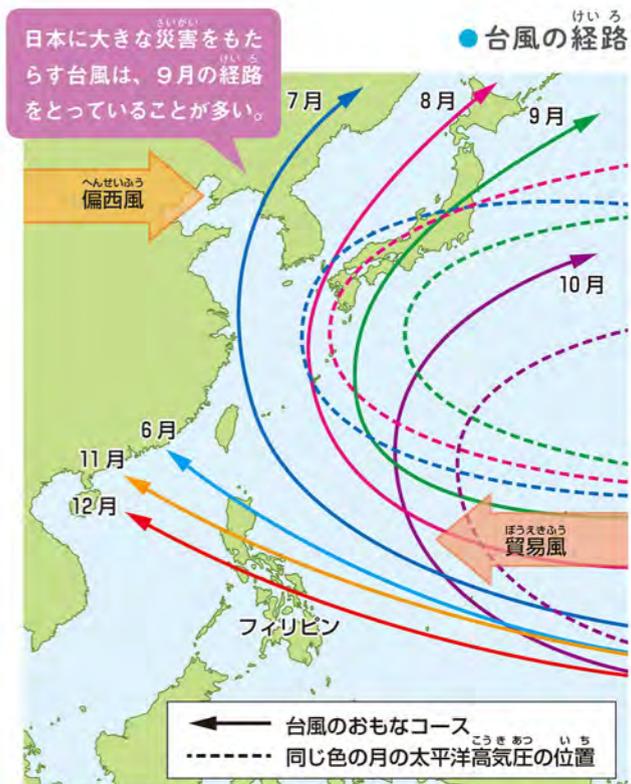
台風は、太平洋高気圧（日本に高温でしめった空気をもたらす高気圧）のふちや偏西風（西から吹く風）、貿易風（東から吹く風）のような風の流にそって進む性質があります。このため、台風は季節によって通り道が異なります。

毎年6月ごろに発生する台風は、フィリピンの方へ向かう場合が多く、日本にはやってきません。この時期、日本の南の海は、高気圧におおわれているからです。その高気圧が日本のすぐ南側にくるようになる7月ごろから台風のコースは北上を始め、8月や9月には上陸する数が増えます。10月以降はまた日本に近づかなくなっていきます。台風は、太平洋高気圧の広がり方によって、その進路が変わるのです。

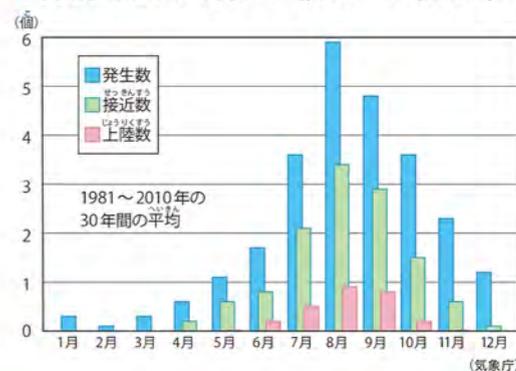
過去30年間（1981～2010年）の平均では、1年に約26個の台風が発生し、そのうち約3個が日本に上陸しています。



台風の発生・接近・上陸ともに夏から秋にかけてが多いんだね



## 月別の台風の発生・接近・上陸の平均値



## 台風の名前があるって知ってる？

台風には、気象庁が号数をつけます。毎年1月1日以後、発生した順に第1号から番号をつけて、元号とともに「令和2年台風第10号」のように表されます。また、アジアの海で発生する台風には、日本をふくむ14か国が加盟する台風委員会によって、ダムレイ（カンボジアでゾウのこと）、サンバ（マカオの名

所）、クジラ（クジラ座、クジラのこと）などのアジア名がつけられています。これは、アジア各国、地域の文化を尊重して、連帯を強くし、人々の防災意識を高めることを目的としています。

今年、発生した台風にはどんな名前がついているのかな？

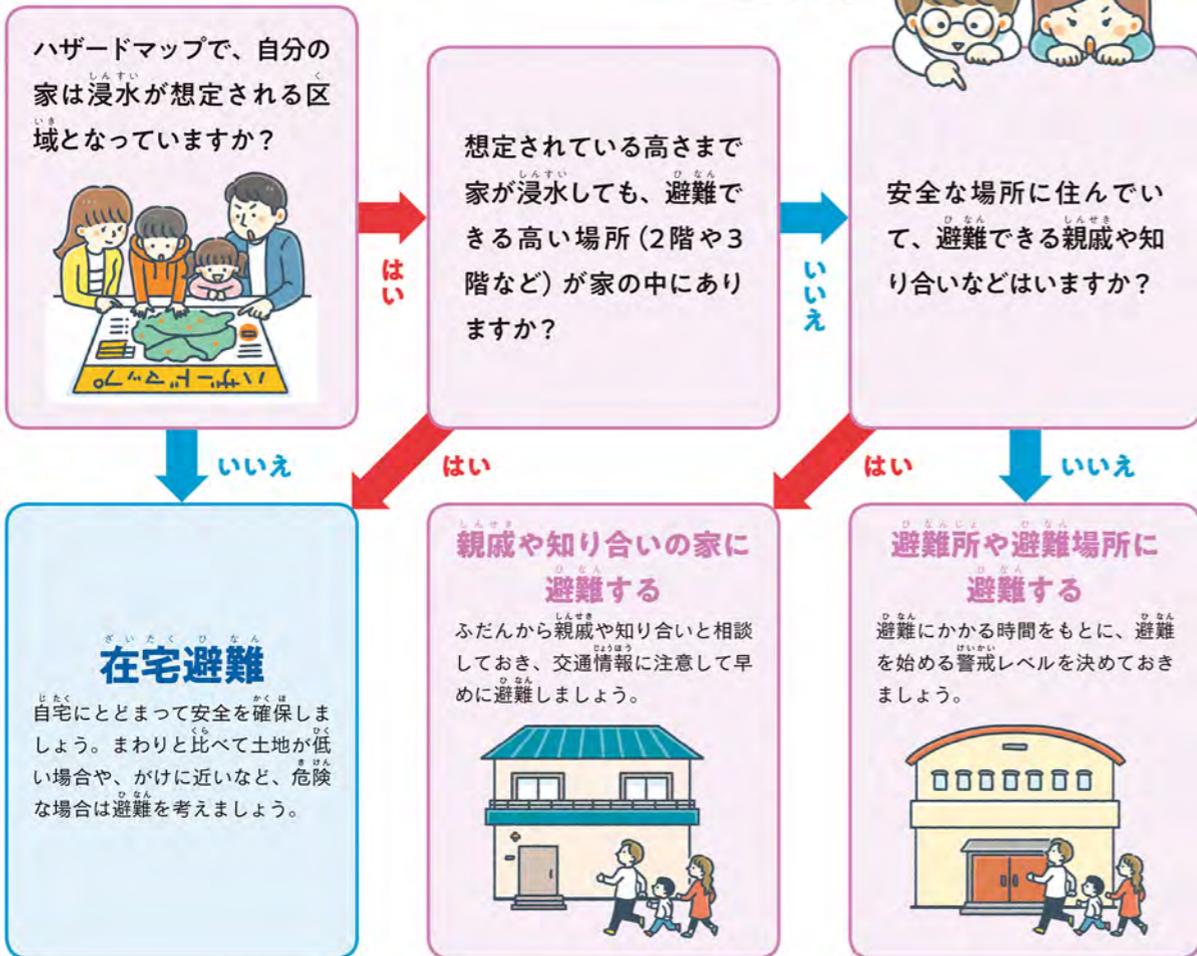


# 避難の場所・方法も確認しておこう

避難するべきかどうかは、ハザードマップや警戒レベル(⇒P.22・23)をもとに判断します。具体的な流れを下の図をたどって見ていきましょう。

## とるべき避難行動を確認しよう!

### 避難行動のフローチャート



場所によっては、マンションの3階や4階まで浸水するところもあるんだって

自分の家はどのくらいの浸水が想定されているかよく見ておかなきゃね



高齢の家族と避難する場合、警戒レベルいくつで避難を始める? **答え⇒P.47**  
(ア) 警戒レベル2 (イ) 警戒レベル3 (ウ) 警戒レベル4

## 夜間の避難は危険!

夜は暗くて足もとやまわりのようすがよく見えないので、避難するのはとても危険です。暗くなる前に避難するように心がけましょう。また、家やマンションなどの下の階にいる場合は、少しでも上の階に避難する「垂直避難」という方法もあります。



## マイ・タイムラインとは?

浸水や土砂災害などにそなえ、余裕をもってにげるためにあらかじめつくっておく避難行動計画を「マイ・タイムライン」といいます。自分の住んでいる場所の危険度を知り、発生しやすい災害を調べ、いつ避難の準備をし、どのタイミングで避難するかを書き出すタイムスケジュールです。自分の住んでいる自治体のマイ・タイムラインがあれば活用してみましょう。自分でオリジナルのものを作成してみてもよいでしょう。

事前にどうやって気象や防災の情報を入手するかを確認しておくのも大事だね



マイ・タイムラインをつくっておけばにげおくれを防げるね



広島県の台風のマイ・タイムライン



広島県の豪雨のマイ・タイムライン

広島県の小学生がマイ・タイムラインを作成しているようす

# 防災について 文章を書いてみよう

自然災害は、いつどこで起きるかわかりません。災害にそなえ、どんなことができるでしょうか。防災についてテーマを決めて調べ、自分の考えを文章にまとめてみましょう。

## ① テーマを決めて調べてみよう

いくつか書き出して  
みるといいだね



### テーマを決めよう

はじめに、どんな災害についての文章を書くのか、大きなテーマを決めましょう。次にそのテーマの中で、くわしく知りたいことを具体的に書き出します。書き出したものの中から「もっと調べてみたい」「クラスの人々に伝えたいと思う内容」をひとつ選び、文章のテーマを決めます。

#### 大きなテーマ

- 地震 ●津波 ●台風 ●豪雨
- 暴風 ●大雪 ●火山の噴火 など

#### くわしく知りたいこと(一例)

- 台風のときは、どんな情報に気をつけたらよいか。
- 地震にそなえて、できることはなんだろう。
- 津波にそなえて、海水浴に行ったときに気をつけることを知りたい。

## さまざまな方法で調べてみよう

知りたいことをどうやって調べるとよいかを考えます。本を読む、インターネットで調べる、資料館などの施設に行く、地域の自主防災会など防災にくわしい人に話を聞くといい、さまざまな方法があります。

また、複数の本を読む、インターネットにあったことを資料館で確かめるなど、ちがう方法で調べて、内容が正しいかを改めて考えることも大切です。

### 本やインターネットで調べる

図書館には本、図鑑、雑誌、地域資料などがある。パソコンやタブレット、スマートフォンを使ってインターネットで調べる方法もある。  
※インターネットは大人と一しょに利用しましょう。

### 関係する施設に行く

自然災害についての展示がある地域の資料館や防災センターなどに行けば、調べたり体験したりすることができる。

### くわしく知っている人に聞く

災害のときに活動する地域の自主防災会の人や、消防団の人などに話を聞く。防災の専門家や災害にあった人の話のっている新聞記事も参考になる。

この本の  
「防災のポイント」も  
見てみましょう。

## メモやふせんに書きとめておこう

調べてわかったことや気になったことは、メモやふせんに書きとめておきましょう。本に書かれていた情報なら、題名や書いた人の名前、出版社、出版された年もいっしょに書きます。新聞記事なら新聞社と年月日、インターネットならサイト名など、何から調べたかをいっしょに書いておきましょう。

書く情報は1枚にひとつだけにしよう！  
テーマごとに紙の色やペンの色を変えるとひとめでわかりやすくなるよ

## ●メモの例 調べてわかったこと

「警戒レベル3  
危険な場所から  
高齢者等は避難！」

内閣府(防災担当)・  
消防庁のリーフレット 2019年

## ② 調べたことを整理しよう

集めた情報をテーマ別に分けて、整理します。それぞれのテーマの内容を表す名前をつけると、どんなテーマで集めた情報なのか、わかりやすくなります。

また、2つ以上のことがらを比べることで、共通する点と異なる点が明らかになります。例えば、台風の避難について「避難所に行く」と「自宅で避難する」の2つについて、よいこと、こまることなどを表にして整理すると、そのちがいがはっきりとわかるようになります。

情報を整理すると、  
文章が組み立て  
やすくなるね



### 台風情報

「台風の進路」  
台風の進路の予報を見ると、暴風のはんいや近づく日時を知ることができ

る。  
『自然災害図鑑』 森林出版  
2019年

気象庁のサイトでは、「大雨・洪水警報の危険度分布」「気象警報・注意報」「雨のようす」「台風情報」

を見ることができる。  
気象庁ホームページ  
<https://www.jma.go.jp/>

### 避難情報

避難所が開いているかどうかは、市の防災アプリで調べることができる。

△口市ホームページより

台風で避難するとき、道路や線路の下を通る道(アンダーパス)は水が流れこんで危険なので通らない。

山本良一『防災ブック』  
谷川図書 2020年